

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 432 号	氏名	佐々木 大介
学位審査委員	主査 丹羽 正美 副査 吉浦 孝一郎 副査 中尾 一彦		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、ヒストンメチルトランスフェラーゼ (HMT) 活性を有する Enhancer of zeste homolog 2 (EZH2) を標的とした成人 T 細胞白血病 (ATL) の新規エピジェネティック治療の可能性を探索しようとしたもので目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 当該倫理委員会の承認に基づいて、ATL 患者、HTLV-1 キャリアと健常人に対する正しい情報供与と説明そして同意を得て、提供された単核細胞とリンパ節および ATL 細胞株を用い、種々の分子遺伝学的および細胞組織学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、EZH2 の過剰発現が ATL の発症に関与すること、および EZH2 が治療標的分子であることを明らかにし、今後の ATL の治療学的研究の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は腫瘍治療学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			